

裾花観光バス山旅へのこだわり

- 1 「旅行業ツアー登山協会議会」制定の「ツアー登山運行ガイドライン」を徹底遵守します！
ツアー登山の指針なる「ツアー登山運行ガイドライン」に基づき、定められた現地ガイドと共に安全登山に努めます。また、緊急時に備えて登山届の提出を徹底します。
- 2 各コースレベルに応じて参加人数の上限を決めています。
裾花観光は全ツアーで、ご参加いただく上限の人数を決めています。コースの難易度に合わせ、安全性と満足度を優先した“快適山行”を目指します。
- 3 最少催行人員は6～10名様です。
裾花観光の山旅は少人数でも出発することにこだわっています。狭い道でも入れる、小型・マイクロバスも駆使し、催行率を高めます。
- 4 自社添乗員と地元ガイドにこだわります。
派遣添乗員ではなく、責任ある判断ができる自社添乗員と、地元ガイドがタッグを組み、楽しい中にも安全第一を心がけた山行のご案内を致します。特に山小屋泊まりのツアーは小屋のオーナーとパイプのある地元ガイドの存在は大きいものです。

- 5 ガイド1名に対する参加人数にこだわります。
参加人数に対する同行ガイドの割合はレベルに応じて適切に配置し、安全山行を心がけます。
- 6 山歩き重視のゆったりとした歩行時間にこだわります。
行程は標準歩行時間に休憩時間などをプラスしてコースを企画しております。
※なお、山中では早朝出発を基本にしていますので、ヘッドランプは必ずご持参ください。
- 7 入浴施設にこだわります。
もちろん入浴料金は全てツアー代に含まれます。
ツアー代金に全て入浴料金は含まれているのももちろん、入浴施設にもこだわっています。露天風呂、掛け流し温泉など癒される施設をご案内できるような努めます。(タオルはお忘れきようお願いいたします)
- 8 山行中や山頂で記念撮影をお撮りしています。
参加者にとって山行中の写真は一生の宝物です。ツアー開始以来続けてきた感動フォトは最新スマートフォンを持参し、よりキレイな写真撮りにこだわります。山行後にお礼状とともにお送りさせていただきます。

ツアーレベルの目安について

レベル	1日の標高差	1日の歩行時間	内 容	引率者比率
Lv.1	～150m前後	1～3時間	今まで観光でしか旅をしたことがないという方が初めて登山や湿原、低山などを歩いてみようというレベル(上高地、高尾山、阿寺渓谷など)	お客様40名に対して引率者1名以上
Lv.2	～300m前後	2～4時間	軽登山靴を着用し、整備の行き届いた比較的平坦な登山道を歩くというレベル(霧ヶ峰、美ヶ原、入笠山、伊吹山など)	お客様40名に対して引率者2名以上
Lv.3	～600m前後	3～5時間	これから登山を始める方には最適な入門コース。山に登る楽しさや魅力に触れていただけるレベル(乗鞍岳、尾瀬ヶ原、大菩薩嶺など)	お客様24名に対して引率者1名以上
Lv.4	～1,000m前後	4～6時間	レベル3より歩行時間や標高差が少し増え、「山登り」という要素が強くなるレベル(湖沢カール、瑞牆山、四阿山、立山雄山など)※飯縄山はレベル3～4に値します。	お客様24名に対して引率者2名以上
Lv.5	～1,500m前後	日帰り：5～6時間 宿 泊：6～7時間	やや健脚向きのコース。一部にハシゴや鎖場、岩場がありますが、連続した難所はないレベル(大朝日岳、焼岳、雨飾山、至仏山など)	お客様20名に対して引率者2名以上
Lv.6	～1,500m前後	日帰り：6～7時間 宿 泊：7～9時間	健脚向きの本格的登山コース。2,000mから3,000m級の高山を訪ねるコースが主体(槍ヶ岳、白馬三山、五竜岳、道東三山など)	お客様18名に対して引率者2名以上
Lv.7	～1,500m前後	日帰り：8時間～ 宿 泊：9時間～	3,000m級の山の縦走を主体とする熟達者向きコース。鎖場、岩場の多い難所を含む。(室堂～薬師岳縦走、裏銀座縦走、奥穂高岳など)	お客様15名に対して引率者2名以上
Lv.8	～1,500m前後	宿泊9時間～	3,000m級の山の縦走で3泊以上のロングコースが主体の熟達者向きコース。一部自炊や寝袋が必要な避難小屋宿泊を伴う。鎖場、岩場の多い難所を含む。(下の廊下、剣岳など)	お客様10名に対して引率者2名以上

- レベル表示はあくまでも目安です。コースの難易度は、天候やルートの状況によっても変わります。
- 引率者比率とは登山ツアーにご参加のお客様の人数に対して、引率者が何名同行するのかの基準です。
- 日頃より健康管理に十分留意し、ご自身の体力と技術にあった山を選びましょう。
- 初めてお申込みいただく場合は登山歴などをお伺いさせていただく事があります。予めご了承下さい。
- ご自身のレベルが分からない、どの山に登ろうか迷っている…など少しでも不安な事があればお気軽にご相談下さい。

山登りに必要な装備や道具など

Q 登山するときの服装は？

A. ベースレイヤー(肌着・アンダーウェア)ミッドレイヤー(中間着・防寒着)アウターレイヤー(防風・レインウェア・ウィンドブレーカー)の3つが基本になります。
怪我や急な寒さから身を守るためにも服選びも重要です。普段から着ているトレーニングウェア等を代用してもいいですが、なるべく乾きやすく動きやすい化繊素材のもの、春・秋など寒い時期にはウール素材のアンダーウェアもオススメです。また、夏でも山は寒いので防寒着も用意しておく安心です。
ズボンも同じ化繊素材のものがオススメ。足の保護の為ロングパンツが最適ですが、体力に自信がなく疲れやすい方はスポーツタイツを履くと快適です。

■基本的な服装■

①アンダーウェア、Tシャツ類 ②長袖シャツ ③ミッドウェア(フリース、セーター) ④ズボン ⑤ソックス ⑥帽子
肌に身につけるものは乾きにくい綿素材を避け、すぐに乾く化繊素材やウール素材のものを選びましょう。パンツは足の上げ下げしやすい柔らかいものを。ソックスはクッション性の高い登山に適した商品もあります。帽子は日焼けや雨を防ぐ為にもハットタイプがオススメです。

Q. 何を準備すればいいの？

A. あって便利な物をご紹介します。
登山靴 ザック ザックカバー(ビニール袋でも可) 雨具(レインウェア) 水筒 腕時計
タオル 健康保険証(コピーも) ビニール袋 軍手(手袋) 防寒着 帽子 携帯電話
ティッシュペーパー(ロールペーパー可) 常備薬 非常食
各自必要に応じて(救急セット、替えの衣服、トレッキングポール、ヘッドランプなど)
 ※また軽アイゼン、寝袋、マット、食器、食事などご持参いただくコースもございます。
 ※全てをご用意いただくなくてもレンタルショップで揃うものもございます。

■登山靴を選ぶポイント■

トレッキングシューズには、ローカット・ミッドカット・ハイカットという区別がありますが、ミッドカット、ハイカットの方が固定・保護力が高いのでくじいたり、捻挫予防にはなりますが登山入門コースに挑戦する方や、歩き方を覚えて自由自在に歩きたい方にはローカットのシューズがオススメです。

■ザックを選ぶポイント■

普段使いのザックでも代用できますが、登山用の物の方が疲れにくく、耐久性にも優れ、便利な機能もあります。容量は日帰りの場合20～25L、1泊の場合25～35L程度が目安になります。また、疲れを緩和させる効果もあるウエストベルト付きのもの、サイドポケットが付いているザックを選びましょう。

Q 自分に合った山選びのコツは？

A. 初めての方でも楽しんでいただけるハイキングやウォーキングのコースも豊富にございます。まずは歩行距離が3時間～4時間程度の山歩き中心の低山で、日帰りのコースを選ぶのもポイントです。
登山を始める入門コースには高尾山・上高地・乗鞍岳もオススメ。
レベル1(初級)～8(上級)までございますので慣れてきたら1つ上のレベルに挑戦してみるのもいいですね♪

その他のご質問・不安な点ございましたらお気軽に裾花観光バスへご連絡くださいませ。